

総務企画常任委員会所管事項調査報告書

期 日	令和5年1月18日(水)・19日(木)
訪問先	兵庫県姫路市
出席者	川口 仁 委員長 高村 真和 副委員長 名切 文梨 委員、神子 雅人 委員、松田 則康 委員、石井 芳隆 委員
随行者	見上副主幹
調査項目	地域の防災対策について ひめじ防災プラザについて
調査内容	<p>〈地域の防災対策について〉</p> <p>姫路市は、ハザードマップの確認、命のパスポートの作成、自主防災組織及び防災リーダーの育成を通して、自分の命は自分で守る、また、自分たちのまちは自分たちで守るという自助共助の促進を図っている。</p> <p>また、自主防災組織について、避難所開設を市の担当と施設管理者が当初は行うが、受け入れや避難所運営には自主防災組織も参加し、728の全ての自治会で自主防災会を結成し、取り組んでいる。</p> <p>さらに、要援護者支援については、市が事業主体となり自主防災会等で構成する「災害時要援護者地域支援協議会」を各地域で組織していただき、当該協議会に災害時要援護者台帳の整備や避難支援行動の検討を委託して実施しており、72校区中71校区で設置済みである。</p> <p>〈ひめじ防災プラザについて〉</p> <p>ひめじ防災プラザ内防災指令センターの緊急通報システム及び「ひめじ防災プラザ」を見学した。「ひめじ防災プラザ」は、市民の方が、防火・防災の重要性を理解し、防火・防災に関する知識と技術を学習することができる施設である。消火体験コーナーや避難体験コーナーにおいて、臨場感のある体験をし、厚木市にはない体験型施設を興味深く見学した。</p>
主な質疑	<p>Q 救急医療情報キットのシールをどこに貼っているか。</p> <p>A シールを2枚配付し、冷蔵庫と玄関ドアの裏側に貼る。</p> <p>Q 個人情報の関係で要援護者の避難支援訓練の実施は難しいが、どのように行っているのか。</p> <p>A 対象者で協力してくれる方を募り、訓練を実施している。</p> <p>Q 自治会加入率が約90%とのことだが、もともと高いものを維持しているのか。</p> <p>A いつからかわからないが、地域柄か、地縁の結びつきが強く、保守的である。</p>